

集計表の見方（表1 - 1 ~ 表1 - 4 共通）

例：表1 - 1
(全国・全業種)

対象物質		報告事業所数 (件)			排出件数 (件)				移動件数 (件)			排出量 (kg/年; ダイオキシン類はmg-TEQ/年)					移動量 (kg/年; ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量合計	都道府県コード (01 ~ 47, 99)	業種コード (4桁)	都道府県名	業種名
物質番号	物質名称	排出	移動	全体	大気	公水	土壌	埋立	合計	廃棄物	下水道	合計	大気	公共用水域	土壌	埋立	合計	廃棄物移動	下水道への移動					
1	亜鉛の水溶性化合物	1	5	6	1	0	0	0	1	5	0	5	1	0	0	0	1	258	0	258	259			
2	アクリルアミド					0	0	0	1	4	0	4	730	0	0	0	730	690834	0	690834	691564			
342	N - (6 - メトキシ - 2 - ビリジル) - N - メ	1	1	2	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0	1	0	10	10	11			
345	メルカプト酢酸	3	1	4	1	2	0	0	3	0	1	1	1	2101	0	0	2103	0	25	25	2128			
346	モリブデン及びその化合物				2	13	0	2	17	35	4	39	30	19390	0	33400	52820	604834	9390	614224	667044			
348	りん酸2 - クロロ - 1 - (2, 4 - シクロロ	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0					0	78	78			
350	りん酸ジメチル = 2, 2 - ジクロロビニル (別	5	4	5	2	2	1	0	5	3	1	4	400	300	0	0	700	110	0	110	810			
352	りん酸トリス (2 - クロロエチル)	0	1	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1700	0	1700	1700			
353	りん酸トリス (ジメチルフェニル)	0	6	6	0	0	0	0	0	6	0	6	0	0	0	0	0	22465	0	22465	22465			
35	n - ブチル	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	12000	0	12000	12000			
9999	合計	28	63	98	7	17	2	2	28	56	7	63	1162	21791	1	33400	56355	1332279	9426	1341705	1398959			

合計の物質番号: 9999

いずれも全対象物質の届出値の単純合計に過ぎない。

対応

全国は99

全業種は9999

集計表 (c s v 形式の集計表のファイルを表計算ソフトで開いたときのイメージ)

対象物質 物質 番号	対象物質物質名称	報告 事業 所数 (件) 排出	報告 事業 所数 (件) 移動	報告 事業 所数 (件) 全体	排出 件数 (件) 大気	排出 件数 (件) 公水	排出 件数 (件) 土壌	排出 件数 (件) 埋立	排出 件数 (件) 合計	移動 件数 (件) 廃棄物	移動 件数 (件) 下水道	移動 件数 (件) 合計	排出量 (kg/年;ダ イオキシ ン類は mg-TEQ/ 年)大気	排出量 (kg/年;ダ イオキシ ン類は mg-TEQ/ 年)公共 用水域	排出量 (kg/年; ダイオ キシ ン類は mg- TEQ/ 年)土 壌	排出量 (kg/年; ダイオ キシ ン類は mg- TEQ/ 年)埋 立	排出量 (kg/年; ダイオキシ ン類はmg- TEQ/年) 合計	移動量 (kg/年;ダ イオキシ ン類はmg- TEQ/年) 廃棄物移 動	移動量(kg/ 年;ダイオキ シン類は mg-TEQ/ 年)下水道 への移動	移動量(kg/ 年;ダ イオキシ ン類はmg- TEQ/年) 合計	排出・移動 量合計	都道府 県コー ド	業種 コード	都道府 県名	業種名	
1	亜鉛の水溶性化合物																						99	9999	全国	全業種

注：排出量・移動量の合計は、各事業所から届け出られた当該データ(ダイオキシン類を除き小数点第1位まで)の合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもの。本集計表の排出量等の各欄を縦・横方向に合計した数値とは異なる場合がある。

集計表の見方（表2 - 1 ~ 表2 - 2 共通）

平均排出量 = 各事業所の排出量の合計 ÷ 報告事業所数 (全体)

平均移動量 = 各事業所の移動量の合計 ÷ 報告事業所数 (全体)

平均排出・移動量 = 各事業所の排出量と移動量の合計 ÷ 報告事業所数 (全体)

例: 表2 - 2 (都道府県別・45業種別)

対象物質		報告事業所数 (件)															平均排出量 (kg/年/事業所: ダイオキシン類はmg-TEQ/年/事業所)					平均移動量 (kg/年/事業所: ダイオキシン類はmg-TEQ/年/事業所)					平均排出・移動量 (kg/年/事業所: ダイオキシン類はmg-TEQ/年/事業所)					都道府県コード	業種コード	都道府県名	業種名
物質番号	物質名称	排出					移動					全体					平均排出量 (kg/年/事業所: ダイオキシン類はmg-TEQ/年/事業所)					平均移動量 (kg/年/事業所: ダイオキシン類はmg-TEQ/年/事業所)					平均排出・移動量 (kg/年/事業所: ダイオキシン類はmg-TEQ/年/事業所)								
		0人 ~ 20人	21人 ~ 100人	101人 ~ 200人	201人 ~ 500人	501人 ~	0人 ~ 20人	21人 ~ 100人	101人 ~ 200人	201人 ~ 500人	501人 ~	0人 ~ 20人	21人 ~ 100人	101人 ~ 200人	201人 ~ 500人	501人 ~	0人 ~ 20人	21人 ~ 100人	101人 ~ 200人	201人 ~ 500人	501人 ~	0人 ~ 20人	21人 ~ 100人	101人 ~ 200人	201人 ~ 500人	501人 ~	0人 ~ 20人	21人 ~ 100人	101人 ~ 200人	201人 ~ 500人	501人 ~				
63	キシレン	0	5	1	1	0	0	4	0	1	0	0	5	1	1	0	0	8694	1000	3800	0	0	3899	0	200	0	0	12593	1000	4000	0	01	0500	北海道	金属鉱業
69	6価クロム化合物	0	1	1	0	1	0	1	1	0	3	0	1	2	0	2	0	241	700	0	2	0	130	140	0	2100	0	371	840	0	2102	01	0500	北海道	金属鉱業
227	トルエン	0	11	5	0	3	0	8	3	0	2	0	11	6	0	3	0	5598	3177	0	3123	0	18319	38500	0	22700	0	23917	41677	0	25823	01	0500	北海道	金属鉱業
	メチル	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4600	0	0	0	0	1600	0	0	0	0	6200	0	0	0	01	0500	北海道	金属鉱業
9999	合計	0	26	13	2	5	0	21	6	1	6	0	31	17	2	7	0	19133	4877	3800	3125	0	23948	38640	200	24800	0	43081	43517	4000	27925	01	0500	北海道	金属鉱業
63	キシレン	0	5	1	1	0	0	4	0	1	0	0	5	1	1	0	0	11421	1000	3800	0	0	3899	0	200	0	0	15320	1000	4000	0	02	0700	青森県	原油及び天然ガス
69	6価クロム化合物	0	1	1	0	1	0	1	1	0	3	0	1	2	0	2	0	1	700	0	2	0	130	140	0	2101	0	131	840	0	2103	02	0700	青森県	原油及び天然ガス

届出が一切なかった物質については、行を削除している。

数値はイメージです

都道府県別の集計表の場合、北海道から順に縦に表が続いていく。

注

合計の物質番号: 9999

いずれも単純な縦方向の合計に過ぎない。

対応

いずれも全対象物質の平均排出量・移動量の単純合計に過ぎない。

集計表（c s v 形式の集計表のファイルを表計算ソフトで開いたときのイメージ）

対象物質番号	対象物質名称	報告事業所数 (排出) 0人 ～20人	報告事業所数 (排出) 21人 ～100人	報告事業所数 (排出) 101人 ～200人	報告事業所数 (排出) 201人 ～500人	報告事業所数 (排出) 501人 ～	報告事業所数 (移動) 0人 ～20人	報告事業所数 (移動) 21人 ～100人	報告事業所数 (移動) 101人 ～200人	報告事業所数 (移動) 201人 ～500人	報告事業所数 (移動) 501人 ～	報告事業所数 (全体) 0人 ～20人	報告事業所数 (全体) 21人 ～100人	報告事業所数 (全体) 101人 ～200人	報告事業所数 (全体) 201人 ～500人	報告事業所数 (全体) 501人 ～	平均排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年) 0人 ～20人	平均排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年) 21人 ～100人	平均排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年) 101人 ～200人	平均排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年) 201人 ～500人	平均排出量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年) 501人 ～	平均移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年) 0人 ～20人	平均移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年) 21人 ～100人	平均移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年) 101人 ～200人	平均移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年) 201人 ～500人	平均移動量 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年) 501人 ～	平均排出・移動量合計 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年) 0人 ～20人	平均排出・移動量合計 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年) 21人 ～100人	平均排出・移動量合計 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年) 101人 ～200人	平均排出・移動量合計 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年) 201人 ～500人	平均排出・移動量合計 (kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年) 501人 ～	都道府県コード	業種コード	都道府県名	業種名	
1	亜鉛の水溶性化合物																																1	500	北海道	金属鉱業

先頭の0は省略

注: 平均排出量・移動量の合計は、対象物質ごとの平均排出量等を (端数処理せずにそのまま) 合計した数値について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもの。本集計表の平均排出量等の各欄を縦方向に合計した数値とは異なる場合がある。

集計表の見方（表3 - 1～表3 - 2 共通）

例：表3 - 2
（都道府県別）

対象物質		排出量（kg/年；ダイオキシン類はmg-TEQ/年）							構成比		都道府 県コード	都道府 県名
物質 番号	物質名称	届出外排出量（推計値）				届出排出量 （集計値）	合計	届出排出量 （％）	届出外排出量 （％）			
		対象業種を 営む事業者	非対象業種を 営む事業者	家庭	移動体	小計						
1	亜鉛の水溶性化合物					注1	注1	注2			01	北海道
3	アクリル酸										01	北海道
4	アクリル酸エチル										01	北海道
6	アクリル酸メチル										01	北海道
7	アクリロニトリル										01	北海道
8	アクロレイン										01	北海道
9	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)										01	北海道
11	アセトアルデヒド	a	b	c	d	e=a+b+c+d	f	g=e+f	f/g	e/g	01	北海道
13	2,2'-アゾビスイソブチロニトリル										01	北海道
.												
.												
.												
345	メルカプト酢酸										01	北海道
34	ノ及びその化合物										01	北海道
35	J-n-ブチル										01	北海道
9999	合計	A	B	C	D	E=A+B+C+D	F	G=E+F	F/G	E/G	01	北海道
1	亜鉛の水溶性化合物										02	青森県
3	アクリル酸										02	青森県

届出がなく、かつ届出外排出量の推計から推計値が得られなかった物質については、行を削除している。

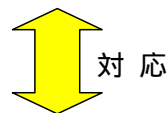
注3

計算式

都道府県別の集計表の場合、北海道から順に縦に表が続いていく。

合計の物質番号：9999

いずれも全対象物質の推計値の単純合計に過ぎない。



対 応

集計表（csv形式の集計表のファイルを表計算ソフトで開いたときのイメージ）

対象 物質 物質 番号	対象物質物質名称	排出量(kg/年; ダイオキシン類 はmg-TEQ/年) 届出外排出量 (推計値)対象業 種を営む事業者	排出量(kg/年; ダイオキシン類 はmg-TEQ/年) 届出外排出量 (推計値)非対象 業種を営む事業 者	排出量(kg/年; ダイオキシン類 はmg-TEQ/年) 届出外排出量 (推計値)家庭	排出量(kg/年; ダイオキシン類 はmg-TEQ/年) 届出外排出量 (推計値)移動体	排出量(kg/年; ダイオキシン類 はmg-TEQ/年) 届出外排出量 (推計値)小計	排出量(kg/年; ダイオキシン類 はmg-TEQ/年) 届出排出量(集 計値)	排出量(kg/年; ダイオキシン類 はmg-TEQ/年) 届出排出量(集 計値)	構成比届出排 出量(%)	構成比届出外 排出量(%)	都道府 県コード	都道府 県名
1	亜鉛の水溶性化合物										01	北海道

注1：排出量の合計は、推計等により得られた端数処理をしていないデータの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもの。本集計表の排出量の各欄を縦・横方向に合計した数値とは異なる場合がある。

注2：構成比の欄は、端数処理をしていないデータにより割り算を行い、その算出結果を小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもの。本集計表の排出量等の各欄から算出した結果とは異なる場合がある。

注3：届出外排出量(推計値)の欄又は届出排出量(集計値)の欄が空欄(csvファイルでは“ ”で示される)のものは、当該物質について、推計の対象としていないことを示す。

集計表の見方（表 4 - 1 ～ 表 4 - 2 共通）

例：表 4 - 2
(都道府県別)

対象物質		移動体からの排出量 (kg/年; ダイオキシン類はmg-TEQ/年)							都道府 県コード	都道府 県名
物質 番号	物質名称	自動車	二輪車	特殊自動車	船舶	鉄道車両	航空機	合計		
								注1		
1	亜鉛の水溶性化合物								01	北海道
3	アクリル酸								01	北海道
4	アクリル酸エチル								01	北海道
6	アクリル酸メチル								01	北海道
7	アクリロニトリル								01	北海道
8	アクロレイン								01	北海道
9	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	a	b	c	d	e	f	a+b+c+d+e+f	01	北海道
11	アセトアルデヒド								01	北海道
13	2,2'-アゾビスイソブチロニトリル								01	北海道
.	.									
.	.									
.	.									
345	メルカプト酢酸									01 北海道
34	及びその化合物									01 北海道
35	α-ブチル									01 北海道
9999	合計	A	B	C	D	E	F	A+B+C+D+E+F		01 北海道
1	亜鉛の水溶性化合物									02 青森県
3	アクリル酸									02 青森県

推計の対象としていない物質
については、行を削除している。

注2

計算式

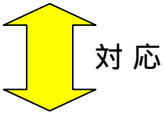
小数点第1位を四捨五入し、整数表示

都道府県別の集計表の場合、北海道
から順に縦に表が続いていく。

注1

合計の物質番号: 9999

いずれも全対象物質の推計値の単純合計に過ぎない。



集計表（c s v形式の集計表のファイルを表計算ソフトで開いたときのイメージ）

対象 物質 番号	対象物質物質名称	移動体からの排出 量 (kg/年; ダイオキ シン類はmg-TEQ/ 年) 自動車	移動体からの排出 量 (kg/年; ダイオキ シン類はmg-TEQ/ 年) 二輪車	移動体からの排出 量 (kg/年; ダイオキ シン類はmg-TEQ/ 年) 特殊自動車	移動体からの排出 量 (kg/年; ダイオキ シン類はmg-TEQ/ 年) 船舶	移動体からの排出 量 (kg/年; ダイオキ シン類はmg-TEQ/ 年) 鉄道車両	移動体からの排出 量 (kg/年; ダイオキ シン類はmg-TEQ/ 年) 航空機	移動体からの排出 量 (kg/年; ダイオ キシン類はmg- TEQ/年) 合計	都道府 県コード	都道府 県名
1	亜鉛の水溶性化合物								01	北海道

注1: 排出量の合計は、推計により得られた端数処理をしていないデータの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもの。本集計表の排出量の各欄を縦・横方向に合計した数値とは異なる場合がある。

注2: 排出量の欄が空欄（c s vファイルでは“ ”で示される）のものは、当該物質について、推計の対象としていないことを示す。